

>>> Sample

Who 30～60代男女	What 上質なワインを味わってほしい	×	Case ワインの広告
------------------------	-------------------------------	---	-----------------------



ワインの上質なイメージを伝える、落ち着いたトーンでのデザインです。深い味わいを思い起こさせるような色で印象づけ、白ヌキ文字との組み合わせで、雰囲気をもたせ、全体をまとめています。

作例カラー



C 15	R 76	C 0	R 118	C 10	R 196	C 55	R 42
M 70	G 23	M 0	G 116	M 90	G 49	M 60	G 25
Y 65	B 6	Y 25	B 95	Y 70	B 56	Y 20	B 51
K 80		K 68		K 15		K 80	
#4C1706	#76745F	#C43138	#2A1933				



C 0	R 164	C 0	R 102
M 100	G 0	M 0	G 100
Y 73	B 32	Y 0	B 100
K 40		K 75	
#A40020	#666464		

深いトーンの大人びた配色。キャッチコピー部分にのみ、明度を上げた赤を入れることで、同系色のなかでもワンポイントとして効果を発揮しています。

深いグラデーションで上質感を

ワインをイメージした深い赤から、濃密な空間を演出する紺のグラデーションが、全体の上質感を高めています。この帯によりセパレーション効果(p.050参照)も生まれ、左のメインビジュアルがより引き立っています。



>>> Sample

Who 20～40代女性	What 気軽にワインを楽しんでもらいたい	×	Case ワインの広告
------------------------	---------------------------------	---	-----------------------



ターゲットを女性に定め、淡めの爽やかな色合いで目を惹きつけるデザインに仕上げています。手軽に楽しめるワインという親しみやすさを前面に押し出し、明るく可愛らしい雰囲気を演出しています。

作例カラー



C 0	R 250	C 15	R 223	C 30	R 185	C 0	R 118
M 22	G 217	M 0	G 242	M 75	G 90	M 0	G 116
Y 0	B 231	Y 0	B 252	Y 30	B 126	Y 25	B 95
K 0		K 0		K 0		K 68	
#FAD9E7	#DFF2FC	#B95A7E	#76745F				

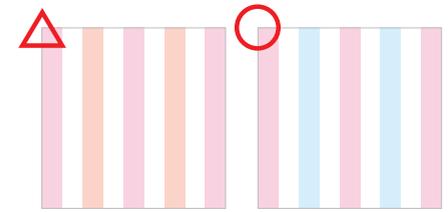


C 0	R 102
M 0	G 100
Y 0	B 100
K 75	
#666464	

爽やかなワインの香りが漂ってくるような、パステルカラーの配色を基本にしています。商品ロゴと文字要素には深めの赤を使用することで、ワインの広告という印象を強めています。

爽やかな色使いのパターン

寒色で引き締めたパターンを使うことで、デザインに爽やかさが生まれます。パステルカラーのパターンはポップかつやわらかい印象を与え、ターゲットが思わず商品を手に取りたくなるように仕掛けています。



同系色のパターンも可愛らしさは演出できますが、爽やかな印象にはなりません。寒色を取り混ぜることで、爽やかな口当たりの飲みやすいワインといったイメージを高めることができます。